

## 瀬戸内町デジタル未来宣言

2050年を見据え、デジタル社会や人口減少（高齢化社会）に対応し、住民の幸せ・ウェルビーイングな未来のためには行政・住民が一体となりデジタル理解を深め、具体的な仕組みづくりが求められます。

瀬戸内町は「町民サービス」「教育」「行政運営」にデジタルファーストで取り組み、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化により、持続可能なまちづくりを推進することを宣言します。

令和4年10月24日 瀬戸内町長 鎌田 愛人

### ●町民サービスのデジタルファースト

デジタルの力で離島等の広範囲な行政区域住民も享受できる「**住民視点の行政**」を目指します。

- ◎行政手続のオンライン化◎証明書のコンビニ交付
- ◎キャッシュレス決済の推進◎高齢者等のデジタル活用支援
- ◎窓口申請書作成支援システムの活用◎eスポーツの推進
- ◎ドローン導入（物資運搬・スマート農業）

### ●教育のデジタルファースト

教育現場でデジタルを活用し、デジタル化に適応できる「**未来を担う人材育成**」を目指します。

- ◎高速通信ネットワークの整備◎児童・生徒への1人1台のタブレット配備◎教員研修の実施◎オンライン授業◎デジタル教材の活用

### ●行政運営のデジタルファースト

デジタルを活用した業務の効率化により、「**持続可能な行政運営**」を目指します。

- ◎ペーパーレスの推進◎WEB会議・テレワークの導入
- ◎AI・RPA等の先進技術の活用◎職員研修の実施
- ◎ドローン導入（災害・地籍・森林調査）◎BPRの導入